

2009年度

科目名	教育実習指導(社会)		
担当教員	三宅 奎介、松田 智弘		
配当	文財4	コード	80841
開期	集中通年	講時	集中0限
		単位数	1
授業テーマ	高校地理歴史の指導要領の確認と教職への一体感について		
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中・高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する授業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。 高校の地理歴史の指導要領を確認して、地理歴史授業に備える。地理AB、歴史(日本史・世界史)ABのいずれも実習できるように準備する。		
成績評価法	(1) 授業後のレポート(50%) (2)教育実習終了報告書・実習校評価(30%) (3)授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。		
テキスト	「子どもがつながる学級集団づくり入門」 新保真紀子著 明治図書		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	(1)授業の開講日に注意 (2)教育実習の手続きを確実に (3)「実習後報告書」の提出 (4)授業は2名の教員で実施		
講義計画			
第1回	教職課程・教育実習の意義を理解する。		
第2回	実地研究の観点や授業指導の心得等々について理解を深める。		
第3回	実地研究の観点や学習指導案作成等々について理解を深める。 実習手続きの指導(教務課)		
第4回	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。		
第5回	実習校で指示された実習授業が地理AB、歴史ABのどちらか確認する。		
第6回	地理ABの指導要領		
第7回	日本史ABの指導要領		
第8回	世界史ABの指導要領		
<教育実習>			
* 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前			
* 中学校または高等学校校の教育実習(専任教員による訪問指導)			
* 実習終了報告書の提出			
第9回	実地研究のまとめ・発表と講評指導。		
第10回	実習後の感想と教師に成ろうと思うかレポートを書いて提出。		